

議事録（概要）

会議名	令和元年度 第1回芦屋町地域公共交通会議					
会場	芦屋町役場3階 第31会議室					
日時	令和元年5月14日（火） 14:00～14:30					
委員の出欠	会長	中西 新吾	出	委員	坂本 正弘 (代理 板並 克也) (代理 是久 和保)	出
	副会長	内田 晃	欠	委員	清武 秀峰	出
	委員	池上 亮吉	出	委員	荒木 裕介	出
	委員	甲山 乙也 (随行 本村 浩幸)	出	委員	石川 智雄	出
	委員	野添 好弘	出	委員	大庭 広文	出
	委員	中川原 達也	欠	委員	宗岡 卓也 (代理 泉原 広和)	出
	委員	貞包 健一	欠	委員	河野 健之 (随行 成田 健二)	出
件名・議題	<p>1. 会長挨拶</p> <p>芦屋町の公共交通の維持確保を図りながら、網形成計画に基づき、実施事業を進めていくため、委員の皆様の活発な議論を行ってもらうようお願いがあった。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 平成30年度芦屋タウンバス利用状況等について</p> <p>(2) 生活交通確保維持改善計画の申請について</p> <p>(3) 消費税増税に伴う芦屋タウンバスの運賃改定について</p>					
合意事項 決定事項	<p>●議題1について、事務局から報告を行った。</p> <p>●議題2、3について、芦屋町公共交通会議委員に承認された。</p>					

質疑応答及び意見と説明内容

議事 1 平成 30 年度芦屋タウンバスの利用状況等について	
事務局	沿革について、平成 31 年 4 月 1 日から中央病院・遠賀川駅線の路線を変更したことについて説明があった。推移について、運賃は約 150 万円、利用者数は約 1 万人強と増加しているとの説明があった。
委員	回数券の売上げは下がっており、現金の売上げが上がっているが、なぜか。
事務局	芦屋町は、自衛隊員や観光客など数回しか利用しない人が多いためであると考え。また、自衛隊員に関しては異動等による隊員数の変化も関係していると考え。
議事 2 生活交通確保維持改善計画の申請について	
事務局	芦屋タウンバス「はまゆう・遠賀川駅線」「中央病院・遠賀川駅線」は国の補助事業であり、生活交通確保維持改善計画は補助申請に必要な計画資料で、目標数値は過去 2 年間の平均を基に算出しているとの説明があった。補助金の申請に係る添付資料について、国が様式の変更を行う可能性があるが、現時点では示されていないため、添付資料については今後、福岡運輸支局と事務局とで調整するとの説明があった。
議事 3 消費税増税に伴う芦屋タウンバスの運賃改定について	
事務局	10 月 1 日から消費税が 8%から 10%に増税となることから、全区間一律で 10 円増額することについて説明があった。
委員	なぜ、10 円なのか。
事務局	平成 26 年 4 月の消費税増税時に、運賃増額の検討が行われましたが、仮に 5%から 8%の増税分を運賃に上乗せした場合、最高運賃の 310 円は約 318.8 円となった。増額分が 10 円に満たなかったため、前回は改定を見送り、10%に増税となる際に、検討することとしていた。次に 10 円増額の妥当性について、最低運賃・最高運賃・平均運賃において、5%から 10%の増税分を上乗せした場合、最低運賃の場合は 8.1 円の増・最高運賃の場合は 14.8 円の増・平均運賃の場合は 11.2 円の増となる。以上のことから、一律 10 円の増額を行いたいと考える。
委員	増額した際の収支については。
事務局	平成 30 年度の実績を基に、仮に 10 円増額した場合の計算を行い、比較した。その結果、差引きはほぼ変わらない数値となった。
議事 4 その他	
事務局	特になし。